

## LUNG-SAFE study 論文化のお知らせ

### 会員の皆様

横浜市立大学麻酔科の倉橋です。

2013年にこの場でヨーロッパ集中治療医学会（European Society of Intensive Care Medicine; ESICM）が主導して行うARDSの疫学調査（LUNG-SAFE study）への参加を募集して早3年が経ちました。お陰さまで研究へは33の施設が参加の意思表示をして下さり、最終的に日本からは28のICUからデータが提出されました。

この度、研究の最初の論文がJAMAに掲載されました（JAMA, 2016;315(8):788-800.）。Supplementary Online Contentの中で、参加して下さった施設のinvestigatorが紹介されています（eAPPENDIX 2）。また、JSEPTICもサイトの募集に多大な貢献をしたので紹介して欲しいと依頼したところ、やはりSupplementary Online Contentの中に明記されています（eAPPENDIX 1）。いずれも以下にリンクを用意していますのでご覧ください。

尚、参加施設からの2次解析等は、現在一般にデータ公開される前に受け付けてくれています。ぜひ積極的にプロトコルを提出してください。全体の解析でも日本のデータを抽出した内容でも構いません。わからないことがあればお手伝いいたします。[kiyok@med.yokohama-cu.ac.jp](mailto:kiyok@med.yokohama-cu.ac.jp)までお問い合わせください。

あらためましてご参加くださりました施設の皆様に御礼を申し上げます。また、ぜひこの膨大なデータを利用して次の論文を主導的に作成されますようご案内いたします。

横浜市立大学附属市民総合医療センター  
麻酔科／集中治療部  
倉橋 清泰